

冷泉院御位ノ時、現御心モナク御物狂ハシクノミ御坐ケレバ、ナガラヘテ天下ヲ知召サン事モ
イカヽト思食ケルニ、御弟ノ染殿式部卿宮○爲ハ、西宮ノ左大臣ノ御婿ニテオハシケルヲ、能人
ニテ渡ラセ給フト申ケレバ、中務丞橘敏延、僧連茂、多田ノ滿仲、千晴ナド寄合テ、式部卿宮ヲ取奉
テ東國ヘ越、軍兵ヲ起、卽位進セント、右近ノ馬場ニテ夜々談議シケル程ニ、滿仲心替シテ此由ヲ
奏聞シケルニ依テ、西宮殿ハ被流罪給ニケリ、敏延ハ播磨國ヲ賜ラン、連茂ハ一度ニ僧正ニナラ
ントテ、斯ル事ヲ思ヒ立ケリ、滿仲返リ忠シケル事ハ、西宮殿ニテ敏延ト満仲ト相撲ヲ取ケルニ、
滿仲力劣ニテ格子ニ被抛付顔ヲ打欠タリ、滿仲不安思テ腰刀ヲ抜テ敏延ヲ突ントシケル、敏延
高欄ノ根木ヲ引放テ、近付バシヤ頭ヲ打破ラントテ立跨テ有ケレバ、滿仲不及力サテ止ヌ、時ノ
人アア源氏ノ名折タリト云ケレバ、敏延ヲ失ハントテ返忠シタリトイヘリ、西宮殿ハ聊モ不知
召ケルヲ敏延失シ爲ニ讒訴ノ次ニ、式部卿宮ノ御舅ナレバドテ讒シ申ケルヲ、一條左大臣師尹
殊ニ申沙汰シテ、西宮左大臣ヲ流シテ、其所ニ成替給タリケルガ、幾程モナク聲ノ失ル病ヲシ、一
月餘リ惱テ失給ニケリ、

〔大日本史贊〕 醍醐帝諸皇子傳贊

贊曰、醍醐諸子皆有材器、○中源高明失勢、觖望時出怨言、竟爲藤原師尹所傾、禍將不測、讒慝乘之、
張大其獄、爲之株連、誣以謀反、則誠冤也、要亦其禍有所從來矣、

〔大日本史贊〕 村上帝皇子爲平具平二親王傳贊

贊曰、村上諸子、其稱於世者、爲平具平二親王、而爲平親王以結昏於源高明、不爲攝籙者所喜、帝嘗
欲傳位親王、而事多支吾、訖不能成、及外祖藤原師輔薨、益不得志、遂起橋繁延藤原千晴等之變、而
高明左降、親王剔髮、勢之不可恃固然矣、

〔大鏡花〕 寛和二年丙戌六月廿三日の夜、あさましく候し事は、人にも玄られさせ給はで、みそか